

# 第 38 回ムトス賞受賞団体

## アップルサンタ

—りんごを介した児童養護施設の子どもたちとの交流—

### 【活動内容】

飯田と東京の児童養護施設の子どもたちとの交流活動に取り組んでいます。夏は飯田下伊那の家庭で子どもたちを受け入れたり、自然体験を行い、秋は農家でりんごを収穫させていただき、そのりんごを送る活動を進めています。



清内路のキャンプ場にて

### 【いきさつ】

2003 年、飯田市公民館が若者たちの社会参加活動を事業化したいと、若者たちの社会参加を進める東京の NPO 法人 NICE(日本国際ワークキャンプ)メンバーを公民館職員として迎え、事業化したのが始まりです。NICE メンバーが公民館職員を卒業した翌年度からは社会教育関係団体となり、飯田や首都圏の若者たちと、会の趣旨に賛同する大人たちが、毎年施設の子どもたちや職員約 30 人を受入れ、夏は南信濃や清内路を拠点としたキャンプや、飯田下伊那地域の家庭での受入れに取組み、秋は市内のりんご農家の協力で収穫したりんごを施設に送る交流を進めています。

### 【メンバー】

発足当初の中心メンバーは首都圏の大学生たちで、そこに飯田の若者たちや、趣旨に賛同する大人たちが関わっていました。これまで参加したメンバーは 50 人を超えていますが、発足当初大学生だったメンバーも年を経て社会人となったり結婚し、全国各地に散らばっており、学生時代のような自由がきかなくなりましたが、必要な資金をカンパしあうなど、できることで関わってくれています。当初児童養護施設の職員だったメンバーが、施設を退職した後スタッフとして関わっているケースもあります。



家庭泊 原さんご夫婦



家庭泊 小池さん

### 【学びや変化】

メンバーの中には、生きづらさを抱えた若者もいましたが、子どもたちや同世代の若者たちとの交流や、活動の中に自身の役割を持つことを通して、学び成長しています。

子どもたちを受け入れる家庭では、子どもたちとの交流を通して、改めて子どもの育ちについて考える機会となっています。

小中学校時代を通して続けて参加している子どもたちは、飯田を第二のふるさととしてとらえてくれており、また、受け入れたメンバーの同世代の子どもたちと、その後も続くつながりも生まれています。

子どもたち、若者、関わる大人たちそれぞれにとって、このつながりがかけがいのないものとなっています。



りんごの収穫



上野で子どもと再会

- 代表者 岡部 美紀
- 発 足 2003 年度
- 会員数 56 名

※プライバシー保護のため、写真は一部加工を行っています。